

くろゆり通信



第 63 号 平成 21 年 3 月 発行
 発行 者 国土交通省中部地方整備局
 天竜川上流河川事務所
 小渋川砂防出張所
 小渋川支部安全協議会

今回のくろゆり通信では、1月24日に大鹿村村長職を退任されました中川豊様に砂防についてと題しまして掲載をお願いしました。また皆様にご協力頂いた山下夏君の募金について、そして新たに大鹿村内で始まった1件の工事をご紹介します。



前大鹿村村長
中川 豊 さん



現在の流路護岸



聖牛

大河原流路工事により、上下市場、文満に至る小渋川の流れは、降雨による増水時でも安定した流れとなってきたことは、村にとって大変ありがたいこと、嬉しみに限りありません。

小渋川も江戸時代、鳥川と大河原川と二つに呼ばれたことが古文書に記されています。

そして何度も氾濫を繰り返して、このため村人も川除け(防水)工事で苦労したことも記されています。

昭和三十六年の大災害以前は降雨により増水で氾濫しますと消防団の出動となり聖牛を組立、前にむしろを張ったり、木流しは竹を取り付け防水をしたものでしたが、流路工事が進むにつれ、その必要がなくなりました。国土交通省のこの工事施工に深く感謝いたしております。

歴史的に見ますと、この聖牛といつのは武田信玄が釜無川や笛吹川での工法を用いて甲斐の農民を呼んだのが始まりといつこととです。

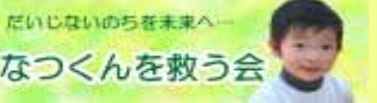
天文二十三年伊那谷は信玄の統治することとなり、聖牛工法が伊那谷でも用いられるようになり、大河原川鹿塩川にも及んでいます。

文化十年(一八一三年)鳥川原水田開発の折にも、現在の旅館赤嶺館前の桜の木の所から平ナギ(東西の別れ)方面に一〇〇組の聖牛を設置して川除け工事をし、水田開発をしたとの記録があります。

さて、あれだけの立派な流路工事がされていますので、今後一層の河川の美化活動を進めていくことが、地域住民の責務と思えます。

流路工事に想う

中川 豊



募金目標額

1億8000万円

達成いたしました。
ご協力ありがとうございました。

ホームページ <http://www7.plala.or.jp/natsukun/index.html>

両親より
活動の応援をいただきました全ての皆様へ

皆様の多大なるご支援、誠にありがとうございました。おかげ様をもちまして、募金額が目標額に達し、私達家族は次のステップへ進むことができました。この日が来る事をずっと待ちわびていたのは夏本人も同じ気持ちだったはずですが、苦しい日々が長く続いてきましたが、ここまで頑張ってきた事ができて本当に良かったと、あきらめなくて良かったと、心から思えました。何としても無事に手術を受けて、1日でも早く皆様に元気な夏姿を見てもらうことができれば嬉しく思います。これからも温かい目で見守って下さい。宜しくお願いします。

皆様、本当にありがとうございました。

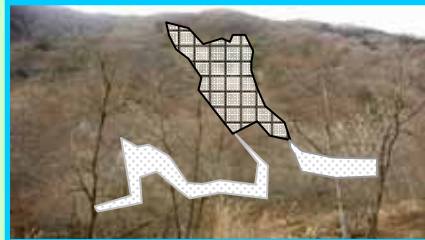
山下 猛
佳織

平成20年度 天竜川水系女高山腹工工事

このたび、女高山腹工工事を担当させて頂く神稲建設株式会社です。日頃より工事のご協力を頂きまして誠にありがとうございます。安全を第一に無事故で工事が完成する様、精一杯努力致しますのでよろしくお願い致します。

神稲建設株式会社

法面を直す工事です。



私たちが現場を担当致します。



現場代理人
遠山 郁夫

監理技術者
伊久間 真太郎

2月中旬より天候が不順でしたが、工事完成に向けて着々と安全に作業を行っております。

工事名：平成20年度 天竜川水系 大河原護岸工事
 工期：平成20年12月9日～平成21年3月24日

有限会社宮澤組

本社 TEL 0265-36-2314
 現場事務所 TEL 0265-39-1220



工事完成まであとわずかではございますが、地域住民の皆様がたのご理解、ご協力をお願いいたします。また、お気づきの点等ございましたら、お気軽にお声をお掛けください。



現場代理人
宮下 雅史



監理技術者
池場 廣明